

2025年度(令和7年度)子どもが主体となった体力向上計画

福山市立戸手小学校

2025年度(令和7年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	75.0	14.3	7.1	3.6
女子	64.0	32.0	4.0	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	75.0	21.4	3.6	0.0
女子	72.0	24.0	4.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業のぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	60.7	32.1	3.6	3.6
女子	52.0	44.0	0.0	4.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.41	24.89	40.96	48.12	63.89	9.10	152.04	23.73	59.76

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	15.28	23.00	45.80	45.84	50.40	9.41	145.76	15.46	61.71

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

- 運動やスポーツをすることが「やや嫌い」「嫌い」と答えてる児童がいる。要因としては、技能差が大きく、苦手意識をもつ児童が活動に消極的になっており、達成感を得ることができていないことが挙げられる。

体力面

- 握力に課題が見られる。
- 日常生活における運動量が不足しており、運動習慣が十分に身に付いていない児童がいる。要因としては、室内で過ごす時間が多いうことが挙げられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体力テストのそれぞれの結果から目標設定をし、取組シートなどを用いて成長を可視化すると共に、担任が児童の実態を把握できるようにする。
- 「できる」という実感をする機会を増やすために、個に応じたスマールステップで運動やミニゲームを設定する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 握力強化週間を定期的に実施し、握力チャレンジコーナーなどの楽しみながら取り組める場を設定する。
- メディアコントロールディと連動し、メディア機器の使用時間を控えることと体力づくりをつなげる。そのため体力づくりメニューを設定し、学校でも家庭でもできる取組を体育委員会の活動で紹介する。

2026年度(R8年度)の 重点目標値

- 体育の授業での工夫を行い、体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と答える児童を100%にする。
- 本校の課題である「握力」の数値を県平均値以上かつ全国平均値以上にする取り組みを進める。